

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバー社が 2012 年 5 月 17 日に発表したプレスリリースの日本語訳です。

2012 年 5 月 18 日
(日本語訳発行日)
J12U005

モスとデュイスがミッレミア 2012 でジャガーの歴史を再現



2012年5月17日 プレシア発

サー・スターリング・モスとコ・ドライバーのノーマン・デュイスが、プロトタイプディスクブレーキを搭載したジャガー「C-type」で参戦した 1952 年のミッレミアから 60 年、二人は今や世界で最も権威のあるクラシックカー・ラリーとなっているミッレミアのスタートに参加し、その歴史をよみがえらせた。

モスとデュイスのペアがハンドルを握ったのは、今回「C-type」です。シャーシ番号 XKC 005 の当車輛は、1952 年のミッレミアの後に行われたランスのスポーツカーレースでモスが優勝を飾り、ディスクブレーキ車として初めて栄冠を獲得したマシンです。

警察に先導されながらプレシア市街をパレード走行した際、モスとデュイスは 1952 年と同様に車体の底がスタート台に当たってしまうことを避け、スタート台の横から出発しました。

サー・スターリング・モスト、当時ジャガーの開発エンジニアだったノーマン・デュイスが 1952 年のミッレミアに参加したのは、当時開発中だったディスクブレーキシステムの耐久性をレースの場で試すためでもありました。「C-type」のディスクブレーキがブレーキとして機能するのか注目されていた中、ミッレミアではステアリングのトラブルでリタイアを余儀なくされましたが、逆にディスクブレーキの高い性能を示す結果になりました。その後モスはランスのレースで優勝し、翌 1953 年にはディスクブレーキを搭載した「C-type」がル・マンで 1 位、2 位、4 位を独占しました。ジャガーが様々な自動車の用途に合わせて技術を開発していくうえで、この勝利は重要な節目となりました。

サー・スターリング・モスは 1952 年のミッレミアについて次のように述べています。

「ディスクブレーキの性能は抜群でした。フェラーリやメルセデスのブレーキは、1 度は良くてもそれ以降はオーバーヒートしていたのに、ジャガーは何度ブレーキを踏んでもすぐに停止する。ミッレミアは究極の実地テストでした。レースのペースで 1,000 マイル以上も一般道を走り続けたらいったいどうなるのか。このレースで手ごたえが得られれば、製品化できる、それがチームみんなの考えでした。」

ノーマン・デュイスも、ブレーキに関するやりとりをよく覚えています。

「検査官たちは車をあちこち調べていましたが、やがて私たちも呼ばれました。ワイヤーホイールだから隙間から見えているはずなのに、検査官がこう述べました。『ブレーキはいったいどこです？ この車にはブレーキがないじゃないですか！』ですから私は『いえ、これが新型ブレーキなのですよ』と言って車体をジャッキで持ちあげ、ホイールをはずして説明したのです。検査官たちは興味津々でした。」

モストとデュイスによるパレードラップに続き、オフィシャル・クルーによるスタートに参加するため、C-type XKC 005 は今年のミッレミアにジャガー・ヘリテージ・レーシングから参戦予定の 5 台—2 台の C-type(ファン・マヌエル・ファンジオが所有していた XKC 018 と、XKC 045)、Mk VII サルーン、XK 120 のロードスターとフィクストヘッド—に加わりました。

ジャガー・ヘリテージ・レーシングがエントリーする 6 台に続き、今年のミッレミアには最新のラインアップ「XF」、
「XJ」そして「XKR-S」がサポートチームを組みます。どれも、60 年前にモストとデュイスがレースで実証した技術的コンセプトと革新的設計をもとに発展したモデルばかりです。

2012 年のミッレミアはジャガー・ヘリテージ・レーシングがチームとして参戦するレースプログラムの第 1 弾となります。なお今年後半は 1956 年以降初めてワークスのバックアップを得た「C-type」と「D-type」がニュルブルクリンク AVD オールドタイマー・グランプリと、グッドウッド・リバイバルでレースに参戦する予定です。

2012 年ミッレミア — ジャガー・ヘリテージ・レーシング・エントリーリスト

- 「C-type」(シャシーナンバー: XKC 005、登録番号: MDU 212)
- 「C-type」(シャシーナンバー: XKC 018、登録番号: 70 XVK)
- 「C-type」(シャシーナンバー: XKC 045、登録番号: NDU 289)
- 「Mk VII」(登録番号: LHP 5)
- 「XK120」ロードスター(登録番号: OOF 748)
- 「XK120」フィクスト・ヘッド・クーペ(登録番号: LWK 707)

以上

本件に関する読者からの問い合わせ先は
ジャガーコール 0120-050-689
(土・日・祝日を除く 9:00~18:00)をご掲載ください

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先は、
03-5470-4242 (ジャガー・ランドローバー・ジャパン広報グループ代表)です。
ジャガーオフィシャルWEBサイトのURLは、www.jaguar.com/jpです。

広報写真はジャガー・ランドローバー・ジャパン プレスサイトをご利用ください
<https://pr.jlrj.jp/>